町有施設のボランティア除雪が行われました



▲金原地区町有住宅屋根



▲八束交流センター裏



▲南町地区町有住宅裏



▲今中前教員住宅裏

2月23日、今金建設協会（瀧澤　雅敏会長）により、町有施設4か所（金原地区町有住宅屋根、八束交流センター裏、南町地区町有住宅裏、今金中学校前教員住宅裏）のボランティア除雪が加盟団体の社員及び重機を用い行われました。加盟団体の皆様、ありがとうございました。

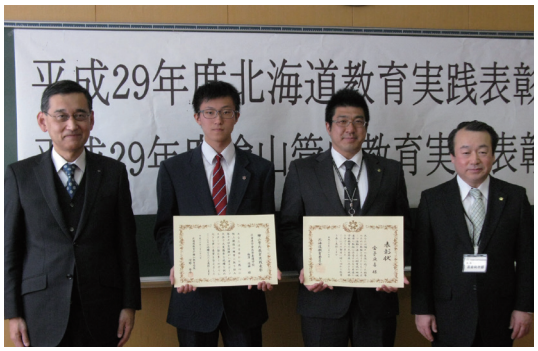
平成29年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）・檜山管内教育実践表彰（特別賞）を受賞

北海道教育委員会では、昭和44年度より北海道教育実践表彰が行われ、道内の学校教育活動に意欲的に取り組み、優れた実践活動を行っている教職員に対して、道内教育の振興に寄与することを目的に毎年表彰が実施されており、今年度は、今金小学校教諭の森尚代さん、北海道今金高等養護学校の金子亘喜さんが受賞されました。

また、北海道教育庁檜山教育局では、檜山管内教育実践表彰が行われ、管内の学校教育、社会教育の振興に特に功績のあった団体、個人に対して、管内教育の振興に寄与することを目的として毎年表彰が実施されており、今年度は、北海道今金高等養護学校２年梅澤瑞輝さんが受賞されました。



▲今金小学校森教諭（写真中央）



▲北海道今金高等養護学校　梅澤さん（写真中央左側）、同金子教諭（写真中央右側）

３月末で終了いたしました。
３月31日までご利用いただけます。

平成30年度も公衆浴場無料開放の日を実施します

日頃より「あったからんど」「種川温泉休憩所」をご利用いただきありがとうございます。

昨年７月から、120年記念事業の一環として実施しておりました「公衆浴場無料開放の日」については、町民の皆様の利用はもちろん近隣町の方々など多くの来訪者にご利用いただきました。

平成30年度においても、引き続き、毎月最終日曜日を「公衆浴場無料開放の日」として運営いたしますので町民、来訪者の皆様のご利用をよろしくお願いします。





☆実施日☆

４月29日・５月27日・６月24日・７月29日・８月26日・９月30日・10月28日・11月25日
12月30日・１月27日・２月24日・３月31日

【問合せ】役場まちひと交流課
☎ 82-0111

性暴力被害者相談

性暴力の被害にあわれた方や家族の方の相談に応じ、必要な情報提供や支援をコーディネートします。

■開設日時
月～金曜日（祝日は除く）
午前 10 時～午後５時
※４月２日から開設します。



■相談専用電話
性暴力被害者対応チーム
函館・道南ＳＡＲＴ（サート）
☎ 0138-85-8825

教育委員に田中稔さんが再任されました

３月８日開催の第１回今金町議会定例会において田中稔さんが教育委員として議会の同意を受けて再任されました。

田中さんには、引き続き今金町の教育行政の発展に対するご協力をいただきます。（任期・平成30年４月１日～平成34年３月31日）

今金町教育委員会組織

（敬称略）

教育長	田中　俊一
同職務代理者	田中　稔
委員	小野嘉代子
委員	永井　章
委員	船木　恵



立正佼成会法輪クラブによるおしりふきの寄贈

３月９日に立正佼成会法輪クラブから、おしりふき約９千枚が寄贈されました。おしりふきは豊寿園、としべつ、国保病院、すえひろ、温(ぬくもり)、光の里学園の６つの施設に分けて寄贈され、高齢者や施設利用者に役立ててもらうために贈られます。

およそ15年前から毎年寄贈が行われており、使用しなくなった布切れやバスタオルなどを使いやすい大きさに裁断、縫製しており、施設の方から大変喜ばれています。寄贈は３月、７月、11月の年間３回行われています。



▲豊寿園での寄贈の様子

鈴木さんの田舎暮らし「出会いと発見」日誌
地域おこし協力隊『いまかね紀行』

みなさまこんにちは。地域おこし協力隊の鈴木でございます。

厳しい冬が終わり、春の日差しが心地よくなってきました。

早いもので今金町に着任してから、二年が経過し、任期も残り一年となりました。ますますこの一年を大切に、深みのあるものにしていきたいと思います。

この二年間で商工会、観光協会事業に携わり、様々な経験を積ませていただいたと同時に、自分に足りない部分を再認識することもできました。それは、「自分が形にしてみたい事業計画」に「儲ける＝採算性」の機能をしっかりと備え付けるという認識が足りていなかったということです。

これまでは、地域がわくわくする理想を追い求め、見た目は何となくきれいに見える企画ばかりを考えていましたが、それでは一発花火で補助金を使って終了という結末を迎えてしまいます。打ち上げ花火で終わらすことなく、今後は継続性をもってできるか、という自問自答をしていかなければいけません。

まずはわくわくスタートでもいいかもしれませんが、本気でその事業を継続させたいのなら、採算性が無ければなりません。これが本当に難しく、目をそむけたくなる時もありますが、このような考えるチャンスをいただける環境に感謝して、より精進していきたいと思います。

引き続きよろしくお願い致します。

地域おこし協力隊　鈴木　佑馬

高齢者交通料金助成事業は
※購入されたバスカードは2020年